

ま な や 目黒の学び舎から



聖契神学校ニュースレター No.11 2006年2月10日発行 発行人 関野祐二
〒153-0061 東京都目黒区中目黒 5-17-8 聖契神学校 URL <http://www.seikei-seminary.org>
電話 03-3712-8746 FAX 03-3712-8804 郵便振替口座 00190-1-85761 「聖契神学校」

主の聖名を讃美いたします。

いつも聖契神学校のため、お祈りとご支援をいただき、ありがとうございます。

寒い寒い今年の冬。何メートルもの豪雪と闘う日本海側の方々を思いつつ、神学校でも一度だけ、数センチ積もった雪かきをしました。例のガマガエルはどこで冬眠しているのでしょうか。

梅開花の便りが届く中、神学校正門から斜向かいの白モクレンも、つぼみをふくらませています。新年度に向けて各々が備えるたいせつな時期。主にあって新しいことが起こる胎動を感じつつ、学生も教師もみどころにかなった歩みが続けられるよう、祈りに向かう日々です。

「先の事は、見よ、すでに起こった。新しい事を、わたしは告げよう。それが起こる前に、あなたに聞かせよう。」(イザヤ42:9)

校長 関野祐二

● 卒業・進級・編入準備の季節です

毎年めぐってくる年度の変わり目。神学校は緊張感と期待、そして不安の入り混じった、独特の空気に包まれています。卒業予定者は、専門科10名、基礎科1名の計11名。3月13日(月)午後6時半より卒業式ですから、ぜひお越しください。説教者は、今回の卒業生と、他に在校生をも送り出している、国分寺バプテスト教会の米内宏明牧師(私が学んだ神学校の二年先輩)です。訓練を終えた主の器を教会の宣教現場に送り出せることは大きな喜びですが、ずっと共に歩んで来ましたが、一抹の寂しさがあるのは事実(本人はそう思っていないかも)。様々な形で、今後も神学校に関わりを続けてほしいです。残る在校生たちも、専門科に進級する人(7名予定)、聴講から正規生に編入する人(1名)、生活や将来計画に合わせて科目数の増減を考えている人など、多様です。1月第二週から始めた希望者対象の個人面談で、今後のことをじっくり相談しているところ。聖契神学校は履修形態の自由度が大きいだけに、かえって自分に合ったメニューを作成するのに悩むことがあります。無理せず、さりとして間延びせず、ですね。

2月末の入学願書締め切りを前に、入学問い合わせも多くなってきました。教団教派や年齢など受け入れの間口は広く、多種多様な生活スタイルに対応する柔軟さで、学びは教職者養成レベルを維持し、みことばに忠実かつ現場に即した実践的学びを提供すること。こんな欲張った目標を掲げつつ、ふさわしい献身者を求めていますから、どうぞお知り合いなどに紹介してください。

そうそう、3月18日(土)に、今回揃って卒業(予定?)のN兄とK姉(婚約中)が神学校で結婚式を挙げます。思い出の詰まった神学校チャペルが結婚式場となるなんて、ステキですね。

● JEAフォーラムと、ずっとKANTO

クリスマス礼拝の翌日から、日本福音同盟主催「JEAフォーラム」という、一泊二日の会議に参加するため、三浦半島突端に出かけました。関東圏の神学校から選ばれた、JEA神学委員

の会議と、他の委員会との交流目的です。とにかく聖契神学校の宣伝とネットワークの拡大を、と心がけているため、こうした対外的働きもお引き受けしているのですが、能力不足を感じることはしばしば。春の小冊子発行に向け、原理主義研究もいよいよ追い込みです。海がきれいな場所だったのに、最初から最後まで会議漬け。苦手な温泉も、さすがに心地良く感じられました。帰宅後一日おいて、今度は淀橋教会他を会場とした青年宣教大会「ずっとKANTO」で、他の二つの神学校代表者と共に、献身の分科会を担当。我が校からもH兄が証し者として同行し、助けてくれました。他校は（表向きは！？）ライバルでなく、特色を出しつつそこに導かれた献身者を受け止め、育成する協力者。すべて終わったのは、暮れも押し詰まった12月30日でした。

● 消防設備点検、悲喜こもごも

昨年夏に、目黒消防署へ防火設備アンケートを提出した時から覚悟はしていたのですが、この秋、消防署員2名による査察を受け（とてもおだやかに親切な方々でした）、自動火災通報装置と消火器設置の改善指導を受けました。専門業者に委託し調査した結果、装置そのものの交換が必要とわかり、先の煙突解体以上の費用見積もりが出て意気消沈。良い道はないか祈っていたところ、「ボイラーも食堂の賄いもない今の状況で、建設当初は必要だった通報装置がはたして法的に必要なのか」と思い浮かび、業者を通じて消防署に確認したところ、なんと現在の施設使用状態では自動火災通報装置は不要との回答。思わず主に感謝しました。全く機能していなかった装置を撤去し、消火器設置をきちんと改善。新規に消防署管轄外の非常ベルを本館に設置する予定。なんだか、放置しておいた虫歯を治療したようなさわやかさ。今度は在校生の避難訓練ですね。

● 神学校デピュテーションに出かけます

神学校の責任を持った当初から、日頃支援してくださっている諸教会におじゃまして、感謝と報告の時を持たせていただきたい、と願っておりました。この4月より、月一度か二ヶ月に一度のペースでなら主日に出かけることが可能となりましたので、お声をかけてくだされば、都合のつく限り喜んでご奉仕をいたします。礼拝説教はもちろん、みことばの学び会、講演会（?）、模擬授業などもできます（クイズやレポートはありません）。その中で10分～15分ほど、聖契神学校の宣伝をさせていただけると感謝です。ほんとうは星の話もしたいのですが、いったん始めると前後不覚に陥るので、話の枕程度に。ともあれ、この神学校のことを多くの方々に知ってほしいですね。お問い合わせは神学校（03-3712-8746/KGH01166@nifty.ne.jp）まで。

● 聖契神学校の予定と祈りの課題

- ・ 献身と学びへの思いが与えられ、今春より本校で学びを始める新入生が、諸教会から多く遣わされるように（正規生10名、聴講生5名目標）。3月3日（金）入学試験のため。
- ・ 卒業を控えた11名の最後の学びと3月13日（月）卒業式、卒業後の働きのため。
- ・ 4月1日（土）午後6時半より入学式です。説教者は井上義師（2006年度後期より礼拝学担当。同盟基督・等々力教会牧師）。新年度の良きスタートを切れるように。
- ・ 神学校が学びの充実と教師研鑽、交わりと霊的成長、運営や経済的満たし等の各面で支えられるように。学生と教師の健康、霊性、教会奉仕、家族や働きが支えられるように。
- ・ 4月からの神学校デピュテーション（校長による支援教会訪問）が支えられるように。
- ・ 神学校施設の保守と安全維持のため。既存の施設をより良く活用できるように。